

第5章 普及啓発及び調査

第1節 自然保護の普及啓発

1 自然保護推進員

自然環境の保護と創出を十分に図るためには、県民一人ひとりが保護と創出の精神を身につけ、推進していくことが何よりも大切です。

このような考えのもとに、昭和47年9月に「自然保護推進員設置要綱」を定め、県内に居住し、自然保護について理解と熱意を有する15才以上の者が、自然保護推進員として本県の自然保護推進の核となって、自然環境の保護と創出を推し進めています。さらにこの制度の積極的な推進を図るため、昭和48年3月に制定した「宮崎県における自然環境の保護と創出に関する条例」に盛り込みました。

現在、第18期(H26.6.1-H29.5.31)の自然保護推進員がそれぞれの地域で活動しています。

自然保護推進員の役割として、次に掲げることを期待しています。

- ①自然に対するプリザーバー（保護を推進する人）として、自然のよき理解者となる。
- ②自然に関するカウンセラー（相談を受ける人）として、自然保護に関し、地域住民のよき相談相手となる。
- ③自然についてのアドバイザー（助言する人）として、かくれているすぐれた自然の発見、紹介、自然の保護、創出等について助言する。

自然保護推進員がこれらの役割を十分果たせるよう、自然保護に関する正しい情報を提供するために、平成10年度より従来の環境情報に加えて、新たに自然保護に関する情報を盛り込んだ啓発情報誌「e c oみやざき」（平成17年度までは「環境ひむか」）を作成し、自然保護推進員に配付することで、自然保護思想の普及啓発に努めています。

2 県民緑化推進運動

平成27年県民緑化推進運動は、「今植えた 小さなその芽が 大きな未来」をテーマに、2月1日から5月31日までと9月1日から11月30日までを「県民緑化推進運動強化期間」と定め、みどり豊かな住みよい郷土づくりを目指し、街頭キャンペーンや緑の募金運動等を展開しました。

(1) 宮崎県の「みどりの日」記念行事

「宮崎県における自然環境の保護と創出に関する条例」で定められた「みどりの日」（4月8日）に、宮崎市内の商業施設宮崎山形屋前歩道において、緑化用苗木400本、鉢花400鉢を配布し、自然保護意識の街頭啓発を行いました。

(2) 緑の募金運動

県緑化推進機構、各地区・市町村みどり推進会議、みどりの少年団、協賛・支援団体等関係機関の協力のもとに、普及啓発活動と併せて緑の募金活動を行い3,211万円の実績がありました。

(3) 緑化功労者表彰等

県民の緑化意識の高揚を図り、みどり豊かな生活環境づくりに資するため、緑化功労者及び学校関係緑化優秀校の表彰を行いました。

(4) 植木市等における「樹木医による緑化相談」の開催

11月23日に小林市で開催された杉コレクション2015等において、樹木医によるみどりの相談所を開設し、家庭緑化の普及と緑化意識の高揚に努めました。（みどりの相談所は、年内に他3回実施）

(5) みどりの少年団の育成

緑と親しみ、緑を愛し、守り育てる活動を通じて、自然を愛し、人を愛し自らの社会を愛する心豊かな少年少女を育てるため、みどりの少年団の活動支援を行うとともに、7月18日～19日に、宮崎県ひなもり台オートキャンプ場において、各団の指導者及び少年団員の参加による総合研修大会を実施しました。

3 県民参加の森林づくり

県民参加の森林づくりを推進するため、森林環境税を活用し、ボランティア等による森林づくり活動や森林環境教育の実践活動等への支援を行いました。

(1) 県民ボランティアの集いの開催

「宮崎県水と緑の森林づくり条例」で定めた森林づくり推進期間（10月1日から11月30日）を中心に、県民参加の森林づくりイベントを中央（西都市、参加者520名）及び地域（小林市、参加者125名）において開催しました。

(2) ボランティア活動への支援等

みやざき森づくりボランティア協議会の情報発信や研修活動等及び森林ボランティア28団体の森林づくり活動への支援を行うとともに、森林ボランティア団体等が実施する植樹活動に必要な苗木14,705本を提供しました。

また、企業の森づくりにおいて、新たに宮崎オーシャンライオンズクラブ他2件に関する森林づくり整備・保全協定を締結しました。

(3) 森林環境教育の支援

森林環境教育に取り組む地域や学校等の64件や森林環境教育のモデルとなる5団体への支援を行いました。

第2節 野生動植物調査

自然環境の保全施策を推進するための基礎資料を得ることを目的として、県内に生息する野生動植物について、現地調査、文献調査等による野生動植物生息状況等調査を実施しています。

調査結果は、改訂版レッドデータブックやレッドリストの改訂・見直しのための資料としても、活用されます。

企業の森づくり

「企業の森づくり」制度は、環境保全等社会貢献に関心の高い企業や団体等に地域の方々とともに森林保全に参画していただくものです。

県では、平成22年度に設立した「みやざき森づくりコミッション」とともに、企業と森林所有者や森林組合等とのコーディネートを行っています。

<取り組まれている企業> (H28.3現在)

雲海酒造(株) 旭化成(株)延岡支社
旭有機材工業(株) (株)宮崎放送 (株)ケーブルメディアワイワイ
(一社)日本野球機構 村田(株)
アサヒビール(株) 住友ゴム工業(株) テル(株)
NEXCO西日本グループ アイ・ホーム(株) 霧島酒造(株)
バクスター(株) 九州電力(株)宮崎支社
(株)宮崎日日新聞社 ランバー宮崎協同組合
(株)オーキュウ 宮崎ガス(株)
東郷メディキット(株) マルマン(株) (一財)セブン-イレブン記念財団 (株)サニクリーン九州
宮崎県砕石事業協同組合連合会 (公財)イオン環境財団 コカ・コーラウエスト(株)
損保ジャパン日本興亜ちきゅう倶楽部 五ヶ瀬川漁業協同組合 (株)九州中央オートオークション
宮崎オーシャンライオンズクラブ

